

事務事業名		日本水道協会参画事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			担当組織	担当部	水道局	担当課	総務課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			担当係	総務係	担当課長名	山根 敏明	
	施策	4	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2	水道事業の安定した経営			実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
		水道	1	1	5	市単独事業・国県補助事業				
						市単独事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S29年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		参画事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
新技術、法改正情報等研修の案内により必要に応じ参加。 年会費の納入(有収水量を基礎に会費算出)「(公社)日本水道協会」とは、水道事業の経営や技術及び水質問題について調査研究を行う他、水道用品の検査及び品質認証を行う。また、国に対して水道に関する請願・建議を行い、全国水道事業者の諸問題解決のため、活動しており、昭和7年5月に設立された公益社団法人です。			・日本水道協会全国会議参加(H26.10)【事業費:負担金569千円】 ・関東支部総会参加(H26.7) ・県支部総会(H26.4、H27.1) // 管理者協議会等報告会(H27.1) // 実務研修会(H27.2)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			研修会参加回数	回	13	11	10			
			研修会参加人数	人	20	30	10			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
水道局職員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			水道局職員数	人	28	26	26			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
知識・技術の向上及び情報収集を図る。			知識・技術の向上、情報収集が図られた職員の割合	%	54	58	38			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
水道事業の健全な経営がされている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			総収支比率(総収益/総費用)	%	108.1	113.5	105.9			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般会計	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	779	569	721	0	0		
	事業費計(A)	千円	779	569	721	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目
		負担金	779	負担金	569	負担金	721		
人件費	人	21	31	11					
のべ業務時間	時間	145	213	75					
人件費計(B)	千円	564	839	296	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,343	1,408	1,017	0	0			

事務事業名	日本水道協会参画事業	担当部	水道局	担当課	総務課	担当係	総務係
-------	------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	水道事業を始めるにあたり日本水道協会へ入会(S29年6月)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	当時は、高度成長を目指し、右肩上がりの時代で、生活向上のバロメーターである水道使用量の増加が急激に進んだ時期であった。しかし、現在では、バブル経済期の崩壊とともに、少子高齢化社会に突入し、また、東日本大震災を経験し節水等エコ意識の高揚等により、水道使用量は減少する時代になっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	水道事業に対する市議会からの要望:水道事業については、消費税増税により料金が値上げとなるが、その負担増分を上回るようなサービスの向上に努め、事業の信頼性を高められたい。 水道施設の整備を計画的に進めるとともに、非常時の的確・迅速な対応ができるよう危機管理を徹底され、今後も安全、清浄、低廉な水の安定供給に努められたい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 この事業へ参画することは、新技術や施工事例及び実務参考となり、ひいては水道使用者の方々へサービスの提供につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 市が水道事業を行っているため
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業へ参画することは、実務参考となり、水道使用者の方々へサービスを還元することにつながるため、見直しをする必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 会議に参加する事で成果が出ているため、これ以上成果を向上することはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費、人件費ともにこれ以上削減はできない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 水道事業に係る費用は、水道使用者からの料金収入により賄われるべきものである。参画事業により、新技術や施工事例及び実務参考に資することは、ひいては水道使用者の方々へのサービスの提供につながり、受益者負担として公平な負担となっている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	将来、水道事業そのものが民営化されれば必要がなくなる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	コスト 削減 維持 増加	
	成果 向上 維持 低下	